

活用場面

BI

一人一台端末を活用し、算数の学習の中で、自ら自立活動のねらいに取り組む学習

活用したソフトや機能：動画撮影機能

学年：特別支援学級（知的）第3学年 教科：算数

単元名：たし算とひき算のひっ算

○ 本時について(6/8)

(1)ねらい

・桁を意識してブロックを操作する活動を通して、十の位に空位がある場合の筆算の仕方を理解し、計算することができる。



(2)評価規準

・磁石玉を操作して、十の位に空位がある場合の筆算の仕方を理解し、計算している。【知識・技能】

(3)自立活動のねらい

・苦手な言葉を正しく発音できるようになることで、話すことに自信をもつ。

(4)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 復習 2 学習の見通しをもつ。 十の位が0のときの計算のやりかたを考えよう	・前時の説明を、タブレットの動画で視聴し、計算の順序を確認する。 ・自分の説明を動画で撮影する。
展開	・100をばらばらにして計算するとできそうだ。 ・今日はどんな説明ができるかな。 3 個人追究する。 ・磁石球を操作しながら、正しく計算するぞ。 ・計算の仕方を自分で説明してみよう。	 ・キーワードやカードが使えるか確認する。 
終末	4 まとめ 百の位から、順番にバラバラにすれば、計算できる ・しっかりと聞こえる声で話せているな。 ・キーワードを使って説明できているぞ。前より上手だな。 5 練習問題に取り組む。 ・自分でできそうな問題を選んで頑張ろう。	

活用の際のワンポイント！

- ICTを活用することで、自分だけでも自立活動のねらいに取り組むことができます。
- 算数だけでなく、様々な教科・活動場面に同じように取り入れていくことで、さらに効果的に自立活動のねらいにせまることができます。

実践提供校：中津川市立阿木小学校